

第2回地域クラブ対抗戦

田島利佳

7月6日 埼玉県日和田山

大学クラブの対抗戦はよく行われているが、地域クラブの対抗戦はそれほど行われていない。

みちの会が企画した地域クラブ対抗戦。そこには大会参加には敷居が高いと感じる人たちの気楽な参加もあった。

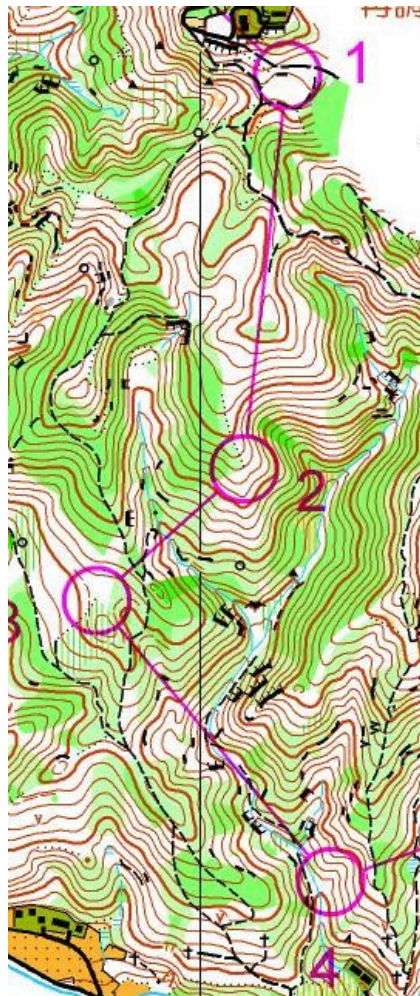
風呂敷が広がって

もともとはみちの会のクラブ行事として、クラブカップのメンバーを決めるセレクション&会内杯として企画。その後、5月に行われたクラブ創立30周年記念イベントの運営手伝いをして下さったES 関東Cと打ち上げを兼ねよう、両クラブにWOC 日本代表選手が4人いるら壮行会をしよう、広江&草野さんの結婚おめでとう会もしよう、それなら他クラブの人たちも呼んでえーい対抗戦にしまおう、と広がるところまで風呂敷は広がり、なんと参加者100人を超えるイベントとなりました。

対抗戦ルールはシンプルで、対抗戦クラスで各クラブの上位者7名の合計タイムで競うというものです。クラブカップは7人で走るということから、その前哨戦とするべく人数を7人としました。この対抗戦に参加したクラブは、ES 関東C、京葉OLクラブ、人間市OLC、渋谷で走る会、ときわ走林会、東京農工大学、そしてみちの会の7クラブです。その他個人参加で十数名の参加がありました。

対抗戦への参加はもちろん、各クラブでもクラブカップのセレクションを兼ねて行っていたようです。今回クラブカップで初優勝したES 関東Cもこのイベントでメンバーを決めていました。

運営はとにかくお気楽練習会モードで、必要最小限のサービスとし参加費も最小限に抑えました。地図とコースがきちんとしていれば参加者はきっと満足してくださるはず、みちの会所有の地図を使用すれば地図代で収入を得られるからいいだろうということからです。



今回の対抗戦のコース
日和田山の高い位置からスタートし3kmほどを下り基調で駆け下ってくるコースが設定された。

会場は巾着田の河原で青空会場、会場～スタート、ゴール～会場は誘導なし、地図を見ながら各自行くこと、スタート時間は各クラブでお任せにしました。ただし暑い時期のため、スタートとゴールには給水所を設けました。

気楽に準備、大きな楽しみ

主な事前準備は私1人で準備しましたが、Eカード使用、OCAD 地図でプリンタ出力することにて一気に運営合理化、省略化できました。それでも力不足なのであらゆる「つて」を使い、コースプランについては村越氏にWOC 代表合宿時にざっと見てもらい、OCADのコース印刷については同クラブの中村氏から教わり、計センに関してはプロの羽鳥さんに一任。傷害保険等の加入

は埼玉県協会の高村さんに手続きをして頂きました。

下見&設置は車で20分の地元テレビンなので時間がかからずWOCのトレーニングも兼ねられ気分転換にもなりました。

当日はからっと晴れず小雨が混じることもありましたが無事ケガ人もトラブルもなく終了。走り終わった後は、成績発表と各クラブの紹介。優勝はES 関東Cでした。アフターイベントとしてクラブの交流会を兼ねて河原でバーベキュー大会。巾着田の河原は夏はキャンプやバーベキューで賑わい、秋は曼珠沙華で有名な場所でもあります。バーベキュー参加者も70人以上集まり大いに盛り上がり、あっという間に時間は過ぎていきました。



方向維持と距離感覚が重要だ。
周囲の人に惑わされるな。

普段大会へ足を運ぶのがおっくうと思っけていても、お手軽イベントでクラブ行事にすれば気軽に参加できる。また他クラブとの交流を持つイベントは実はすごくニーズがあるのではないかと運営して感じたことです。今回のようなお気楽運営でもよければ、また対抗戦イベントや交流イベントを開きたい、運営もちまわりでもやってもいいかもしれないですね。

(田島利佳)